

第 1912 回例会報告

◇会長告知◇会長 小口 直久

皆さんこんにちは。本日も例会にご出席いただき誠にありがとうございます。

今週の日曜日、下諏訪中学校の生徒の皆さんとともに、里山整備事業としてブナの植林活動を行ってまいりました。今回の活動には、生徒 16 名に加え、校長先生、教頭先生にもご参加いただき、学校関係者合わせて 18 名、そして当クラブからは 14 名の会員にご参加いただきました。ご参加いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。

当日は、生徒 3 名とロータリアンで 1 グループをつくり、5 グループに分かれて活動を行いました。それぞれのグループでブナの木を 2 本ずつ植林し、中学生の皆さんは慣れない作業にもかかわらず、一生懸命に取り組んでくれておりました。汗を流しながら土に向き合う姿を見て、地域の自然や未来を大切に思う気持ちが、次の世代へしっかりつながっていると感じ、大変嬉しく思いました。

1 時間ほどの作業の後には、各グループの代表生徒から感想を發表していただきました。その中で、「森が守られることで、きれいな水が諏訪湖へ流れ込み、諏訪湖もきれいになると思う」という素晴らしい意見がありました。自分たちの活動が、山だけでなく諏訪湖全体の環境へつながっていることを理解してくれていることに、非常に感動いたしました。

最後には、参加者全員で朝食をいただきながら交流を深め、和やかな雰囲気の中で事業を終えることができました。世代を超えて、ともに汗を流し、地域の未来について考える時間は、まさにロータリーらしい貴重な奉仕活動であったと思っております。

本日の例会は、次年度会長基本方針発表です。宮澤次年度会長がどのような思いで一年間のクラブ運営に臨もうとしているのか。どのような未来を描き、どのようなクラブを目指そうとしているのか。その熱意やビジョンを、今日この場で会員全員が共有することは、次年度のクラブ運営を成功へ導く大きな第一歩になると思っております。

また、ロータリー活動は「参加すること」だけではなく、「ともに考え、ともに行動すること」に大きな意味があります。本日の発表を通じて、会員一人ひとりが「自分には何ができるのか」「どのようにクラブに関わっていけるのか」を改めて考えるきっかけになればと思っております。

本日の例会が、クラブの未来を考える有意義な時間となりますことを願い、会長告知とさせていただきます。本日もどうぞよろしくお願いいたします。

令和 8 年 5 月 14 日(木)晴

続き、皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

◇幹事報告◇ 幹事 成山秀幸

【連絡事項】里山整備に参加された皆様、お疲れ様でした。新聞に大きく取り上げてもらいましたので、回覧いたします。

【受領文書】月信、ロータリーの友、ハイライトよねやま、ミンダナオの風

【出席報告とニコボックス】

出席報告		ニコニコボックス	
		利用人数	今回の金額
会員数	33 人	7 人	11,000 円
出席対象	31 人	前回累計	613,000 円
出席者数	22 人	累計	624,000 円
出席率	71.0%	目標額	70 万円
前回修正出席率	%	達成率	89.2%



日曜日に行われました下諏訪中学校生徒の皆さんとの里山整備事業、ブナの植林に、多くの会員の皆様にご参加いただき誠にありがとうございました。天候にも恵まれ、有意義で温かみのある事業を行うことができました。あらためて感謝申し上げます。本日の例会は、次年度会長基本方針発表となっております。宮澤会長がどのような思いで次年度のクラブ運営に臨まれるのか、その熱意やビジョンを会員皆でしっかりと受け止め、次年度へ向けて心一つにする有意義な時間にしてまいりましょう。本日もどうぞよろしくお願い致します。

小口直久

明日うさぎ年の誕生日を迎える自分にとって、会長方針を發表することとなり、今日はドキドキです。よろしく願い致します。

宮澤孝良

先日は、下諏訪中学校のみなさんとの協働で行った、里山整備でした。行くとび新たな発見や課題が見つかり、良い活動になったと思います。来期も行うと思いますので、会員の皆様、是非宜しくお願いします。

五味弾 宮澤会長予定者の基本方針楽しみにしています。 宮坂英貴 宮澤エレクト、次期頑張ってやっていきましょう。 小笠原仁

◇誕生祝い◇

小口直久会員 61 歳「体は衰えを感じていますが、気持ちは 30 代半ば、まだまだ頑張ります」

宮澤孝良会員 63 歳「今年始めの例会で、「挑」という字



を書きましたので、何事も挑戦していきたいと思えます」
仁科貞治会員 54 歳「ゴールデンウィーク明けからバタバタしていて、家族からはまだ祝ってもらっていません」
おめでとうございます



◇例会内容◇

会長幹事担当例会

次年度会長方針発表

「自分に変化をもたらそう」

宮澤孝良会長エレクト

本年度の会長方針として「自分に変化をもたらそう」を掲げます。

ロータリー活動の本質とは、奉仕を通じて社会に貢献することはもとより、その実践の中で自らを磨き、人として成長していくことにあると考えております。年齢や背景、価値観の異なる仲間と出会い、互いを尊重しながら研鑽を重ねることは、自身の内面に新たな気づきと変化をもたらします。

その変化は、単なる一時的な意識改革にとどまるものではありません。やがて自らのキャリアや事業、さらには家庭や地域社会との関わり方にも良い影響を与え、より豊かな人格形成へとつながっていくものと信じております。そして、一人ひとりの成長と変化の積み重ねこそが、持続可能な力となり、社会に対する確かなインパクトを生み出します。その歩みは、私たち個人のみならず、クラブ全体としての価値あるレガシーを築く礎となることでしょう。ロータリーの五大奉仕には、それぞれ深い意義があります。しかしながら、私たちが取り組む奉仕活動は、それぞれが独立したものではなく、相互につながり合う一体の活動であると考えております。

社会奉仕においては、小中学生を招いた里山整備や諏訪湖浄化活動を実施し、自然との関わりを通じて、自ら考え行動する力を育てまいります。また、青少年奉仕では、「つつじヶ丘学園」の子どもたちに社会体験の機会を提供し、自己肯定感と将来への希望を育てまいります。さらに国際奉仕では、セブ島支援として子どもたちとの音楽交流を行い、国境を越えた心のつながりを深めてまいります。

これら一連の活動は、子どもたちに持続可能な学びと希望を届けるとともに、私たち自身にも新たな活力と視点をもたらしてくれるものです。そして、その経験の共有が、クラブにさらなる活気と結束を生み出していくものと確信しております。

また、これからのロータリークラブには、多様性を認め合い、互いを尊重し合うインクルーシブな姿勢が一層求められる時代であると感じております。年齢や背景、考え方の違いを受け入れ、多様な価値観を力へと変えていくことこそが、未来のロータリークラブの可能性を大きく切り拓く原動力になるものと信じております。

会員の皆様のご理解とご協力を賜りながら、各事業の円滑な推進に努めてまいります。一年間、どうぞよろしくお

願い申し上げます。

次期クラブ奉仕委員長

小笠原仁会員

宮澤エレクトはとても優しくニュートラルな考え方で、皆から好かれる方なので、この諏訪湖 RC も活気あるクラブになると思います。私もクラブ奉仕委員長として頑張っていきたいと思っています。



次年度職業奉仕委員長

北原厚子会員

ロータリーの一番の原点は倫理運動だと思います。人として正しく歩み、一生懸命仕事をして得たお金で、家族を養う、それが職業。そして、倫理とは、仕事をした事で、その人から褒めてもらうなど考える事ではなく、自分が正しい道だと納得して進む事が一番良いと思います。

次年度社会奉仕委員長/クラブ戦略計画・長期計画委員長

萩田均会員
子供達とこの地域に残していく物を作っていこう。これが社会奉仕の基本だと思っています。そのため、青少年奉仕とオーバーラップしていく事が多いと思いますので、次年度も青少年奉仕委員会と協力していきます。

地区へ 3years target を提出しており、なから計画通りに進んでいます。計画より良くなっている事はありません。そのため、随時クラブ戦略計画委員会を開き、進捗状況を確認していきます。

次年度国際奉仕委員長

成山秀幸会員

セブの子供達と心のつながりを、ということで、私が一つ考えているのは、諏訪湖 RC の会員が自費で鍵盤ハーモニカを買い、大合奏をし、セブの小学校に行ってそれを流してくるという計画もありかなと思っています。ご協力をお願い致します。

次年度青少年奉仕委員長

五味弾会員

今年度社会奉仕委員長をやらせてもらい、本当に大変でした。そのため、引き継ぎのためのプラットフォームを作りたいと思います。そして、青少年奉仕委員会としては、ロータリーの活動にはほとんど青少年奉仕がつきまわってくると思います。今決まっている所では、バス旅行の 2 回目、あとは他の委員会のサポートをやっていくのが、青少年奉仕かと思っています。

